

# 世界で活躍するラッパーに必要な要素 求められるのは、技術か、人柄か

前号までは、職人のあるべき姿や、技術を磨く必要性を紹介してきました。今回は少しだけ視点を変えて、市場のなかで必要とされている「職人の在り方」について考えていきたいと思います。

## 人手不足で量産される技術不足な職人たち

まず、「職人」という言葉の意味を改めて調べてみましょう。辞典関連の出版社として名高い平凡社が発刊している、世界大百科事典によると、「一般に、自分の手先の技術により物を生産することを職業とする人をいい、その技術は、独自の徒弟制度により伝習してきた。」と記されています。これを見ると、技術のもととなる師匠がいて、それを伝承していく弟子をつくって、初めて職人は出来上がると言えると思います。

しかし、サイン業界の方々はご存じだと思いますが、日本の職人は、長年人手不足に悩まされ続けています。さて、すると、どのような現象が起こるのでしょうか。仕事は多いのに、それをさばける人の数が足りない。師匠が教える余裕も時間もありません。結果、少ないスキルと経験で現場に駆り出され、未成なるまま、間違った自信を持ってしまう若手の職人が増えてしまうのです。

この問題を抱えているのは、日本だけでなく、世界の国々でも同様です。看板業界に限った話ではないですが、2年ほどの下積みで一人前と過信し、フリーランスに転向したり、独立する人も増えていますね。本来は修行の必要だった伝統芸能的な職種が、次々とデジタル化しているのも、その風潮をさらに後押してしまっているように感じます。

サイン業界で言えば、メディアや看板の簡易施工化が挙げられます。もちろん、技術革新は素晴らしいし、どんどん



①フリーランスとして世界中を飛び回っているブラジルの職人 Dimas 氏

②ロシアで手腕を振るう女性ラッパー

③世界各国で活躍する名だたる職人たち。人脈をつくる人柄が、継続的な仕事を生む

進むべきです。しかし一方で、職人技が刻一刻と衰退しているのも事実。かつては熟練の職人でなければ難しかった作業でも、近年は説明書通りにこなす

は、果たして技術力だけなのでしょうか。もっと言えば、きれいに貼るだけで、本当に仕事は入ってくるのでしょうか。

日本を含め、他国でも問題になっているのが、職人の人間的質の低下です。先ほども話したように、素人で入社したラッパー志願者が、1、2年修業して独立するケースは、最近世界的に増えています。これといった作業場を持たなくとも、高額な機械の導入をしなくても、開業できるからです。

しかし、そのような付け焼刃のラッパーには、ひとつの重大な問題点があります。それは、客の引き抜きです。独立前に懇意にしていた人をそのままお得意様にしてしまうため、結果的にとの会社へ迷惑をかけてしまうのです。

その上で、若いラッパーは十分な技術も営業力も持っていないために、遠くないうちに新規を獲得できなくなってしまいます。すると、毎月の収入源に右往左往して、最終的に同業者仲間の仕事を手伝うだけの「一人職人」が誕生しました。しかし、私も正直同感です。過去の連載でも、技術は講習で学ぶべき、と論じた回もあったと思います。

## ただの作業員に甘んじる職人の特徴とは

これから先、製品開発の技術は日に日に高まり、便利な商品はどんどん増えていくでしょう。職人でなくとも、きれいに看板の貼り替えができる。そんな時代がもう来ています。

数年前、ホリエモンの愛称で親しまれている実業家・堀江貴文氏は、「寿司職人は10年も修行しなくとも、1~2年くらい専門学校で学べば良い」という趣旨のコメントを出し、少し物議を醸しました。しかし、私も正直同感です。過去の連載でも、技術は講習で学ぶべき、と論じた回もあったと思います。

とはいっても、職人にとって必要な能力



子どもにもできるカーラッピング体験会が開催されるなど、メディアの技術革新は日進月歩。技術がなくても誰でもきれいに貼れるこの時代に職人として何ができるか、考え続けたい

では、このような職人が量産されないためにはどうすれば良いか。私は、それこそ長年の修業が重要だと考えています。技術を学ぶ以上に、大切な部分を学べると思うからです。それこそが、仕事を継続的に獲得する「人柄」です。

## 人柄を育てる職場が未来の一流をつくる

ここからは、私が印象に残っている職人たちの言葉を3つほど、紹介したいと思います。以前、家具職人の師匠として何人の弟子を一人前に育て上げた経緯を持つ、秋山木工の秋山利輝さんと話をする機会に恵まれました。そのなかで一番印象に残った言葉は「心が一流にならないと一流の職人にはなれない」というものでした。

これは、海外の職人たちの間でもよく使われる言葉です。例えばあるコンテストで上位入賞をしたラッパーが、良い成績を鼻にかけて横着な態度をとるようになる、といった例もあります。すると、同業者はその人を相手にしなくなり、仕事は減っていってしまいます。彼はまさしく、心が一流でないからです。

さらに、秋山さんの会社では、働く際の態度をすごく重視しているそうです。心を込めて、相手の目を見て挨拶ができるないと、現場に行かせてもらえない。報告・連絡・相談をきちんとできないと、技術が秀でても担当に付かせられません。その他、明るい人、責任を持てる人、人の指示を正確に聞ける人、返事をちゃんとできる人、思いやりのある人など、30項目に及ぶ条件が

あります。言葉では至極当たり前のルールだと思うかもしれません、これを守るのは意外と大変なのだと思います。

先述した若いラッパーは、果たして心が一流と言えるでしょうか。答えは、当然Noです。秋山さんに学んだ心構えは、独立したときにこそ、その大切さが身に染まるのではないか。

もうひとつ、心に残っている話をしたいと思います。私が20代の頃に現場で出会った、当時50代の先輩左官職人の言葉です。「職人になって30年余り、自分で100%満足できた仕事はまだない。毎日自分が本当に納得できる仕事をしたいけど、満足できない」

しかしながら、その先輩職人は、当時まだ若造だった私にも恐ろしく謙虚な態度で、丁寧な言葉遣いででした。そして、仕事は超一流だったのです。技を磨き、腕を上げ、その上で自分の仕事に満足できないとまた気付く。そのひたむきさと向上心が、30年以上生き残ってきた最大の要因だと強く感じました。

最後は、電気機器メーカー・京セラを一代で築き上げた稻盛和夫さんが、前述の秋山木工について語った言葉です。「『心』を育て『人生』を豊かにする日本人の『働き方』がここにあります」

まさに、今連載で言いたかった私の言葉を代弁してくれています。今の世の中は、謙虚に心を育てる場が減ってきてしまっています。だからこそ、このような働き方ができれば、その道で世界中どこでも通用する一流の職人になれるのではないか。

苅谷伊  
(かりや ただし)



1969年2月3日生まれ。07年より、カーラッピング専門のPPF事業部立ち上げ、車体装飾に注力。日本カーラッピング協会の会長も務める。18年、米・ロングビーチのWrap Olympics優勝など、数々のラッピングコンテストで活躍する傍ら、世界各地で車体装飾のデモンストレーションを実施。各国におけるサイン製作の現場も積極的に視察し、業界の発展に寄与する活動を続ける。

## 資格

- ・職業訓練指導員 第10085号
- ・屋外広告士 第7721号
- ・1級技能士 広告美術仕上げ 第14-061-21-0001号
- ・3M Preferred (US 3M本社認定インストラーバー)
- ・3M Knifless 認定インストラーバー US0017号
- ・AVERY DENNISON CWI認定
- ・HEXIS CERTIFIED INSTALLER GOLD認定
- ・LLumar PPF JAPAN認定講師
- ・TWI認定トレーナー
- ・JAF国際C級ライセンス

## 主な講師、デモンストレーション実績

- |       |   |
|-------|---|
| 2017年 | 中・杭州でラッピング講習会                                       |
|       | 中・上海でPPF講習会   |
|       | 日・SIGN&DISPLAY SHOWでセミナーなど                          |
| 2018年 | 日・JAPAN SHOPでセミナーなど                                 |
|       | 馬・クアラルンプールでPPF講習会                                   |
|       | 露・モスクワでコンテスト審査員、PPF講師                               |
|       | 米・ラスベガスのSEMAショーで実演                                  |
| 2019年 | 日・沖縄県広告美術協同組合で講習会                                   |
|       | 尼・スラバヤでのイベントでセミナーなど                                 |
|       | 露・モスクワでコンテスト審査員                                     |
|       | 日・SIGN&DISPLAY SHOWでセミナーなど                          |
|       | 米・ラスベガスのSEMAショーで実演                                  |
|       | 日・名古屋モーターショー FESPA WORLD WRAP MASTERS JAPANでヘッドジャッジ |
| 2020年 | 日・日本カーラッピング協会で講習会                                   |
| 2021年 | 日・青森県職業能力開発協会で講習会                                   |

ほか多数

## SNS

- フェイスブック（苅谷伊）  
Instagram @designlab\_inc.wrap\_japan  
Twitter @tadashikariya

## 株式会社デザインラボ PPF事業部

〒501-6023  
岐阜県各務原市川島小網町2150-24  
TEL/FAX: 0586-89-2332

●企業、団体、個人にかかわらず、カーラッピング、プロテクションフィルムなどについての技術講習会を受付中。小企業の海外展開（販売）の実例を交えた講演会、セミナーの問い合わせもデザインラボまで。